

報道資料

平成28年3月31日
 地域デザイン推進課 市街地整備推進係
 担当者 平塚・山口・小田
 連絡先：0742-27-7521
 内線 4324・4312・4319

～大宮通り新ホテル・交流拠点事業～
ホテルを核とした賑わいと交流の拠点整備事業
コンベンション施設等整備運営事業 落札事業者を決定(速報)

奈良県では、奈良市中心部に位置する県有地（県営プール跡地及び奈良警察署跡地）を利活用し、奈良での滞在型観光・人々の交流を促進する新たな拠点を創出するため、大宮通り新ホテル・交流拠点事業（旧称：県営プール跡地活用プロジェクト）を展開しています。

このプロジェクトの実現のため、平成26年12月にプロジェクトの核となるホテル事業の優先交渉権者（森トラスト(株)グループ）を選定し、今月3日にはホテルブランドをマリオット・インターナショナルの「JWマリオット」に決定したと公表したところです。

このたび、ホテルと並び本拠点の中心となるコンベンション施設等の整備・運営事業について、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）」に基づき民間事業者の募集を総合評価一般競争入札により行い、この29日に開催した「ホテルを核とした賑わいと交流の拠点整備事業審査委員会」（以下、「審査委員会」という。）で選定された事業者を落札事業者として決定しました。

なお、落札事業者の提案の概要は以下及び添付資料でお示ししておりますが、当地における「奈良らしさ」に係る事項としては、水平線を基調としたフォルムと奈良の寺社(正倉院を例示)の重厚感を想起させるテクスチャーによる全体構成のほか、屋外多目的広場の大屋根やコンベンション施設等の内装・庇軒下等に奈良県産の木材を使用すること、また、平城京の条坊制をイメージさせるデザインによる「大路」や万葉集の樹種を考慮した「万葉の丘(植栽帯)」を整備すること等の提案があったことを申し添えます。

なお、審査委員会における審査講評については、後日公表する予定です。

■応募事業者 1グループ

■落札事業者

	事業者名	当事業での役割
代表企業	(株)大林組	建築設計、建設
構成員	(株)梓設計 ----- (株)コンベンションリンケージ	建築設計、建築工事監理 運営(コンベンション施設等)
	(株)東急コミュニティー	維持管理、運営(観光振興施設・民間提案施設)
協力企業	(株)オオバ	土木設計、土木工事監理

※構成員：本事業において、設計、工事監理、建設、維持管理及び運営の各業務のいずれかを担当し、かつ本事業の実施を目的として設立する特別目的会社(SPC(Special Purpose Company))へ出資し、事業開始後、SPCから直接業務を受託又は請け負うことを予定している企業

協力企業：参加グループの構成員以外の者で、SPCに出資はせず、事業開始後、SPCから直接業務を受託又は請け負うことを予定している企業

■落札金額

20,302,902,460円（消費税及び地方消費税を含まない。）

■施設概要（別紙参照）

所在地	奈良市三条大路一丁目
敷地面積	約2.3ha
コンベンション施設	地上2階、延床面積 10,692㎡ 1階 大会議室 2,160㎡、ホワイエ 804㎡、 小会議室 100㎡×4室 2階 中会議室 350㎡×4室、ホワイエ 1,016㎡
屋外多目的広場	面積 1,013㎡、大屋根付き
駐車場、バスターミナル、 バス待合所、駐輪場	駐車場 400台、バス乗降場 2台、バス駐機場 3台 バス待合所 143㎡、駐輪場 79台
観光振興施設 屋内多目的広場(劇場)	1階・2階 飲食・物販施設 2階 多目的広場 延床面積 5,310㎡
民間提案施設	レンタサイクル

※当表記載事項は、事業者から提案のあった内容です。

■今後のスケジュール（予定）

基本協定	平成28年4月
仮契約	同年 5月
契約締結	同年 6月県議会に上程し、議会の承認後(7月頃を予定)
設計・建設期間	契約締結日から平成32年3月末迄
開業時期	平成32年4月
維持管理・運営期間	上記開業時期から平成47年3月末迄(15年間)

■配布資料 別紙2枚